



## ご挨拶



北信越社会人サッカー連盟

会 長 磯貝 正人

第52回北信越フットボールリーグ（HFL）開催当たり、一言ご挨拶申し上げます。まずは東日本大震災から今年で15年、2024年の能登半島地震などの自然災害で犠牲になられた方、いまだに心の傷が癒える事が無いとは思いますが、その方々への哀悼の意を表すとともに、いまだに多くの方々が生活の不安を感じておられており、一日も早い完全復興を願っております。

さて、今年の日本サッカー界は、日本男子代表（SAMURAI BLUE）においてはアジア予選を圧倒的な力で突破し、北米3ヶ国（アメリカ・カナダ・メキシコ）で開催される大会に臨みますが、アジアでの盤石な戦い方をそのまま本大会でも発揮されることを大いに期待したいと思います。また、国内に目を向けますと、Jリーグにおいては現在、明治安田J.LEAGUE百年構想リーグが開催され、北信越からもアルビレックス新潟、ツエーゲン金沢、カタレ富山、松本山雅FC、AC長野パルセイロの5チームが参加、しのぎを削っております。そしていよいよ8月からはJリーグも本格的にシーズンの移行が始まり、サッカーカレンダーも大きく変わろうとしています。

北信越フットボールリーグ（HFL）においても、2026年は新しいチャレンジの年と位置付け、無駄に熱い北信越リーグの再来を目指してお互いのチームが切磋し合い、今年こそはJFL昇格チームを出してもらいたいと思います。また、サッカーを通して北信越地域における元気や夢が想像出来る様なリーグである事を願っております。

結びとなりますが、ご協賛スポンサー様や（一社）北信越サッカー協会、各県サッカー協会、各県社会人サッカー連盟の皆様には、当連盟事業に対しての格別のお引き立てを賜り、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



## 第52回北信越フットボールリーグの 開催にあたり

北信越フットボールリーグ

実行委員長 油谷 秀隆

第52回大会の開幕にあたり、当リーグを支えてくださる全ての皆様に心より感謝とご挨拶を申し上げます。

リーグ創設以来、当リーグは2024年の能登半島地震はじめ幾多の困難に直面しながらも、北信越5県のサッカーファミリーの熱意によって一度も歩みを止めることなく歴史を繋いできました。私たちは今、改めて「サッカーができる日常」に感謝し、ピッチ上での全力プレーを通じて、地域の方々に勇気と活力を届け続けることが必要だと感じています。

さて、リーグ開幕前に今年度のHFLが目指していくものは何かを改めて考えると、やはりさらなる「競技レベルの向上」と「品格ある戦い」の両立が必要ではないかと思えます。互いをリスペクトしながらも、一歩も引かないインテンシティ（強度）の高いゲームを追求し、全国の舞台で勝ち抜くために、日常から高い基準で切磋琢磨することが不可欠です。

日本サッカー界は、2026年からのシーズン移行という大きな変革期を迎えようとしています。私たちは今年を「進化のための重要な準備期間」と捉えています。リーグ関係者の全てが、サッカーを通じて夢を与える存在である自覚を持ち、ピッチ外での地域貢献活動も含め、地域に愛され、必要とされるクラブへと成長していくことを期待しています。

実行委員会といたしましては、安全・安心な運営を第一に、選手たちが100%の力を発揮できる環境を整えてまいります。サポーターの皆様、そしてパートナー企業の皆様、今シーズンも北信越のプライドを懸けた「熱き戦い」に、変わらぬご支援とご声援をよろしくお願い申し上げます。